

はっとこどもえん えんだより 2025ねん

5期：10月14日～11月30日



5歳児（秋のいろいろなもの）

社会福祉法人 種の会

幼保連携型認定こども園 はっとこども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL：078-805-3810

FAX：078-805-3820

携帯：080-3033-1952

Mail：hat@tanenokai.jp URL：<http://www.tanenokai.ed.jp/>

種の会 法人本部Mail：tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp



★10月22日（水）に幼児遠足を予定しています。

詳細は、CCWでお知らせしていますので、ご確認をお願いします。

また、雨天中止になりますが、幼児クラスはおにぎり弁当をお持ちください。乳児クラスは給食があります。

★保育参加について

11月4日（火）から17日（月）まで乳児クラスの保育参加を行ないます。詳細はCCWでご確認をお願いします。

前期に参加できなかった幼児の保護者の方も、ご希望があれば直接職員にお声がけください。ご参加お待ちしております。

★健診について

11月13日（木）耳鼻科健診（4・5歳児、乳児は該当児）

11月18日（火）内科健診（全園児）



成長を感じる秋

園長 ^{ふじわら} 藤原

先日の運動会には、たくさんのご参加をありがとうございました。あたたかい拍手や声援をいただき、子どもたちの晴れやかな表情が見られました。当日は、子どもたち一人ひとりが、それぞれの“その子らしさ”を大切にしながら、一生懸命な姿を見せてくれました。個々の力を超えて、クラスという集団としての力も存分に発揮されていたと感じます。当日は「子どもたちだけでやりきる（＝子どもたちの力を信じる）」という私たちの願いに子どもたちが応えてくれた姿がありました。練習を通して、仲間と協力したり、競争したり、集中したり、緊張したりとさまざまな経験を重ねた子どもたち。その一つひとつが、確かな成長の糧となっています。今回の運動会を経て、子どもたちはひとまわり大きくなったように感じます。また、保護者の皆さまのご協力なくして、運動会の成功はありませんでした。道具係をはじめ、お片づけのお手伝いや保護者競技・親子競技へご参加など、多方面でお力添えいただき、心より感謝申し上げます。

10月に入ったものの、まだ少し暑さの残る日もありますが、徐々に過ごしやすい季節になってきました。園庭にはどんぐりが落ち始め、登降園時や園庭で“収集したもの”を嬉しそうに見せてくれる子どもたちの姿もあります。この季節には積極的に園外へ出かけ、落ち葉のじゅうたんの音や感触を楽しんだり、木の実を見つけたりと、自然とのふれあいを大切にしていきたいと思います。秋の深まりとともに、友達との関係やあそびの内容もますます充実していきます。幼児クラスでは、遠足や秋まつりなどもあり、異年齢で過ごす時間も増えていきます。異年齢では同年齢のクラスとはまた違った子どもの一面が見られたり、クラスを越えて気の合う者同士で盛り上がりたりする姿があります。また、日ごろから大人が伝えるよりも異年齢の関わりの中で自然と身につくことは多く、新たな興味や好奇心を生み出すきっかけにもなっています。相手から学び、また別の相手へ伝えることを繰り返しながら、関わる楽しさを感じ、豊かな経験を重ねていってほしいと願っています。

別途ご案内させていただいておりますが、11月4日から乳児クラスの保育参加を実施します。幼児クラス同様、見るだけの「参観」ではなく、我が子とともに過ごし、そして、我が子以外の子どもと関わっていただき、日常の園生活や活動の様子を知っていただきたいと思います。当日は、日頃からお伝えしているような子ども同士の姿や関わりが見られるかもしれませんが、保護者の方にぴったりとくっついて離れない姿も予想されます。それもまた、子どもたちの素直な気持ちの表れです。周りの子どもたちやクラスの雰囲気を通して、日頃の様子を感じ取っていただけるかと思います。お仕事の都合もあるかと思いますが、たくさんのご参加をお待ちしています。なお、今回の日程調整が無理な方は、期間以外に来ていただいても構いませんので、いつでもご相談ください。





秋を楽しむ

主幹保育教諭 橋本 崇

秋の気配を感じ、園庭ではたくさんのトンボが飛び交っています。5月に植えたサツマイモも暑い夏を乗り越え、元気な葉をつけ、収穫を今か今かと待っているようです。先日の運動会では、子ども達のすばらしい笑顔と頑張っている姿がたくさんみられました。保護者の皆様からの温かいご声援も子ども達にとって大きな力となったことでしょう。心より感謝申し上げます。運動会で培った自信や協調性を活かし、子ども達はまた一回り大きく成長したと思います。

秋の自然がもつ豊かな教育効果

10月に入り、朝夕は涼しくなり、ようやく秋の訪れを感じられるようになってきました。園庭のどんぐりがたくさん実を付けています。木々の葉っぱも少しずつ赤や黄色に色付いてきて、子ども達はこれから、秋の自然に触れ、五感を通して季節の移り変わりと共に、大いに好奇心を刺激されます。季節の移り変わりを肌で感じ、発見や学びを深めることができることでしょう。



子ども達の成長(学び)を促す秋の遊び

秋の自然物を使った遊びは、子ども達の想像力や創造力を養います。

☆感性の育成☆

木の実や葉っぱといった自然物を使って製作を楽しんだり、感触を味わったり、身近な虫と触れ合ったりすることで「不思議」「きれい」「かわいい」など、豊かな感性が育まれます。

☆探求心の向上☆

「これなあに?」「どうなっているんだろう?」「なにができるかな?」「どこいくのかな?」といった問いかけを通じて、自らを考え、探求する力を養います。

☆言葉や思考力の成長☆

自然の中での発見や疑問は、言葉で表現する力や思考力を高めることに繋がります。

秋の遊び

☆協調性や責任感の育成☆

友達や家族と一緒に自然の中で活動することで、コミュニケーション能力や協調性が育まれます。

☆五感を刺激する☆

土や自然物の匂い、収穫物の手触り、色鮮やかな紅葉など、五感をフルに使うことで感覚神経が刺激され、脳の発達が促進されます。

☆問題解決力の向上☆

どの果物が熟しているのかを見極めたり、芋を傷つけずに掘り出す方法など、考えたりする中で、子ども達は自然と問題解決能力を養います。

☆自然とのつながりを感じる☆

自然の中で過ごす時間は、心を落ち着かせ、穏やかな気持ちにさせてくれます。そして、命を感じる機会でもあります。

園庭だけでなく、お散歩や公園遊びの中で「小さな秋」を見つけ、自然体験をたくさん取り入れた遊びを通してこれからも子ども達の好奇心を大切に、楽しく園生活が送れるよう努めてまいります。



○さい
おいさまぐみ

たけなか だかはし
竹中 高橋
かとう おくにし
加藤 奥西

5期：秋を味わう期 （10月14日～11月30日）

- 【テーマ】 様々な遊びを楽しむなかで秋を感じる
- 【室内活動】 粗大遊び・クレパス・シール貼り・楽器遊び（すず・タンブリン）
感触遊び（小麦粉粘土・春雨・トイレットペーパーなど）
- 【戸外活動】 ミニ園庭・散歩（HAT内・近隣の公園）
- 【うた】 ♪きのこ ♪どんぐりころころ ♪やさいもグーチャーパー など
- 【わらべうた】 かれっこやいて・あしあし あひる・とうきょうとにほんばし など
- 【異年齢交流】 乳児交流・クローバーデイ
- 【栽培】 かぶの苗植え
- 【食育】 きのこ（10月）・さつまいも（11月）
※内容は変更になる場合があります



片栗粉遊び

乾いた片栗粉と水をかけた片栗粉の2種類を用意して触って遊びました。乾いた片栗粉に触れるときは、指先でつついたり、握って固めてみたりと様々な触り方で感触を確かめていました。水をかけた片栗粉は、にぎると固くなり手を離すと溶けていく変化を楽しみました。溶けて手から落ちていく片栗粉の様子を不思議そうに見つめながら、繰り返し握ったり、離したり、夢中になって遊ぶ姿が見られました。今後も様々な感触に触れ、五感を刺激しながら遊んでいきたいと思います。



食育

とうもろこしの皮剥きをしました。指先を上手に使いながら皮を引っ張り、剥くことができると嬉しそうな表情をしていました。剥いた皮やひげを手で触ったり、頭にのせてみたりしながら感触を楽しみました。

剥いたとうもろこしを茹でたものを、おやつ時間に食べました。よく噛んで、味わいながらたくさん食べていました。





1さい
おひさまぐみ

竹中 篤
加藤 奥西

5期：秋を味わう期（10月14日～11月30日）

- 【テーマ】 秋を感じながら様々な遊びを楽しむ
- 【室内活動】 クレパス（三原色）・シール貼り・楽器遊び（すず・タンブリン）
感触遊び（小麦粉粘土・春雨・トイレットペーパーなど）
- 【戸外活動】 園庭遊び・散歩（HAT内・近隣の公園）
- 【うた】 ♪きのこ ♪どんぐりころころ ♪やきいもグーチーパー など
- 【わらべうた】 かれっこやいて・あしあし あひる・とうきょうとにほんばし など
- 【異年齢交流】 乳児交流・クローバーデイ
- 【栽培】 かぶの苗植え
- 【食育】 きのこ（10月）・さつまいも（11月）
※内容は変更になる場合があります



感触遊び

4期では、わかめ・春雨などの様々な感触遊びを行ないました。初めは乾燥したものを提供し「チクチク」「パラパラ」など、硬い感触や音を楽しんでいた様子でした。途中で水を混ぜると、少しずつ変化する感触に不思議な表情を浮かべていた子ども達。保育者の姿を見て少しずつ指先でツンツンと触れてみたり、手のひらにそっと乗せてみたりとそれぞれのペースで遊ぶことが出来ました。感触に慣れてくると、表面を叩いて跳ね返りを楽しんだり、顔や頭にもくっつけてみたりと大胆に遊びが広がっていきましました。丸めておにぎりに見立てたり、カップに入れてうどんに見立てたりとイメージを持って遊んでいる姿も見られました。子ども同士で関わり合いながらたくさん遊ぶことが出来ました。



お散歩

10月になって気温も下がり、過ごしやすい季節になりました。5期では、天気の良い日に散歩に出かけます。保育者や友達と手を繋いで一緒に歩きながら、様々な秋の自然に触れていきたいと思います。





2さい
なぎさぐみ

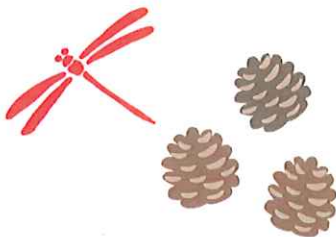
まえだ いずみ こばやし
前田・泉・小林

【5期】秋を味わう期（10月14日～11月30日）

- 【テーマ】 いろいろな自然物に触れ秋を感じよう
- 【室内活動】 粘土（米粉・小麦粉）、のり遊び、楽器遊び、マーカー など
- 【戸外活動】 園庭遊び・散歩（近隣の公園）
- 【うた】 ♪やきいもグーチーパー ♪まつぼっくり ♪やまのおんがくか など
- 【わらべうた】 くまさん くまさん・かれっこやいて・おてらのおしょうさん など
- 【集団遊び】 うらら・ルールのある遊び（しっぽ取り） など
- 【異年齢交流】 クローバーデイ・乳児交流
- 【栽培】 冬野菜を育てよう（苗の植え付け・水やり）
- 【食育】 栗（10月） 柿（11月）

初めての運動会

楽しみにしていた初めての運動会が終わり、なぎさ組の子ども達は、一回り大きくなったように感じます。2人組の競技を練習しながら、お友達をより意識するようになり、なぎさ組全体でお友達同士の会話や関わりが増えて、以前よりも賑やかになりました。運動会でも、お友達と一緒に取り組む姿を見ていただけたと思います。これからも、お友達と関わる楽しさをたくさん伝えていきたいと思います。



秋の自然を楽しもう

夏の間、飼育していたカブトムシとたくさん触れ合ってきた子ども達。残念ながら成虫は一匹ずつ寿命がきてしまいましたが「寂しいね」「動かなくなっちゃった、なんでもかな」と、様々なことを感じたようでした。日々観察する中で子ども達が卵を見つけ、新たに生まれたカブトムシの小さな幼虫を優しく見守る姿が見られます。秋も自然とたくさん触れ合い、五感を通して季節を感じられる活動をしていきたいと思います。





ひらぐり さかもと
平栗・坂本

5期（10月14日～11月30日）

- 【テーマ】 秋の自然を感じよう
- 【絵画・制作】 はさみで連続切り～木をつくろう～
クレパス遊び～さつまいものつるを描こう～
お祭りに向けた製作
- 【うた】 ♪やきいもグーチャーパー ♪まつぼっくり
♪どんぐりころころ ♪おばけのかぼちゃ
♪きのこ ♪いしがたにのうた
- 【音楽・表現】 リズム打ち（3拍打ち・7拍打ち） リトミック
- 【戸外活動・交流】 秋の遠足 中学生交流 秋祭り
- 【農育・食育】 冬野菜の水やり やきいも大会
- 【絵本】 おちば！ さつまのおいも



筆あそび



初めての筆遊びをしました。はじめは色を付ける前に筆を手で触ったり顔につけたりして「ふわふわ」「気持ちいい」と感触を楽しみました。黄色の絵の具を付けると線や丸などの形を描いたり、太さや長さにも興味をもって自由に描くことを楽しむ姿がみられました。「これはおはなだよ」とイメージをもって描く姿も見られ、「もう一回！」と画用紙のおかわりをして、集中してあそぶことが出来ました。

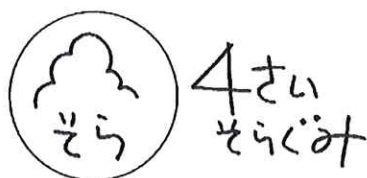


ミニパラ遊び



4期ではパラバルーンに触れる時間がたくさんありました。バサバサ自由に動かすことから始め、中に入ったりまわったりして様々な遊び方を経験しました。だんだんと曲を聞きながらリズムに合わせて動かすことが出来るようになり、みんなと一緒に力を合わせる姿が見られ成長を感じました。





きさい いけがみ
笹井・池上

5期（10月14日～11月30日）

- 【テーマ】 秋を満喫しよう
- 【絵画・制作】 絵画（さつまいも）・木の実を使用した制作
- 【うた】 ♪やきいもグーチャーパー ♪いもほり ♪まつぼっくり
♪やまのおんがくか ♪おひさまになりたい
- 【音楽・表現遊び】 楽器遊び（トライアングルを含めた打楽器でのリズム打ち）
リトミック（表現遊び・劇遊び）
- 【外部講習】 ダンスオブハーツ
- 【戸外活動・交流】 秋の遠足・焼き芋大会
中学生との交流会・秋祭り・グループ活動
- 【農育・食育】 さつまいもの収穫・クッキング
冬野菜、チューリップの苗植え・柿、栗の食育
- 【絵本】 おいもをどうぞ・はやしでひろったよ

パラバルーン



夏の終わりから毎日、見本の動画を見て、手や足を動かしながら、動きを覚えました。動画を見ているうちに、パラバルーンへの期待も高まり「早くパラバルーンしたい!」とワクワクしていた子ども達。お稽古が始まると「パラバルーン楽しい!」という声がたくさん聞こえました。自分たちが行なった動画を見て、振り返りながら「〇〇くんの手がピシッと伸びててカッコいい」「みんなの動きがバラバラ」などと、お友達のキラキラを見つけたり、もっとカッコよくなるためのポイントを探したりして、日々、上達していきました。クラスで心を一つに頑張ってきた経験が、そら組の団結力も高めることができたと思います。



くぐってとんで

「くぐってくぐって」「とんでとんで」を、ゲーム遊びや体育遊びでたくさん経験を重ねてきました。保育者が何も言わなくても阿吽の呼吸で一人が足をすぐに関き、一人がさっと下をくぐりとそら組としての成長を感じました。勝負をして勝った時の喜びや、負けた時の悔しさを味わいながら「次は勝つ!」という気持ちで励んできたそら組でした。



5さい
かもめぐみ

ふくおか やまおか
福岡 山岡

5期(10月14日~11月30日)

- 【テーマ】 いろいろな秋を楽しもう～食欲・芸術・読書・スポーツ～
- 【絵画・造形】 絵の具を使った絵画、キノコ
- 【うた】 ♪ドコノコノキノコ ♪くだもの列車 ♪おばけのかぼちゃ
♪ともだち賛歌 ♪きのこ
- 【ピアノ】 きらきら星
- 【異年齢活動】 幼児遠足、秋祭り
- 【行事】 秋のお泊まり保育、よいこのつどい、中学校交流、電車でおでかけ
焼き芋大会
- 【農育・食育】 冬野菜の種植えと水やり、キノコのクッキング
- 【絵本】 ほしじいたけ ほしばあたち、まじょのメルとひかるスープ
- 【外部講師】 ダンスオブハーツ

運動会～心を一つに～

はっとこども園での最後の運動会が終わりました。かもめ組は、かけっこ、台風の目、リレー、組体操だけでなく、体操リーダーや、各クラス競技の見本、アナウンスなど、たくさんの役割も担ってくれました。運動会までの取り組みをお話します。

「なんで運動会をするの?」という話し合いから始めました。子ども達は自分たちの気持ちや、観に来てくれる保護者の方々の気持ちも考えて、みんなで心を一つにして取り組んでいけるように、真剣に話をしていました。お稽古が始まり、台風の目、リレー、組体操を楽しみながら取り組む中で、たくさんの葛藤も経験してきました。台風の目では「どうやったら速く走れるかな?」「3人組はどうやって決める?」と競技として取り組むだけでなく、作戦会議もたくさんして、友達と意見を出し合い、チームで心を一つにできるように、当日を目指しました。台風の目やリレーで負けてしまった経験も「あきらめなかったら勝てる」「負けたらまた考える」と何度も挑戦して、心も成長したように感じます。

組体操で子ども達は、「真剣な姿」や「誰とでも力を合わせる姿」を見てほしいとお稽古をしてきました。みんなで一緒に成功できるように、失敗しても何度もお稽古を繰り返しながら、いろいろな技に挑んできました。運動会でのいろいろな経験を通して、また一つ大きくなったかもめ組でした。



つりのせいせい

すえぐち
未口

運動会を終えて日々お稽古などを共にしたことでクラスの仲やお友達同士の仲もより一層深まったと思います。今回は、5歳児の構成コーナーでのエピソードを紹介したいと思います。

みんなでいっしょに

5歳児のAくんが「(カプラで) 高い塔作ろう」と誘うと数名のお友達が集まって来ました。順番を決めながらひとつずつ積み上げていきます。少しずつ高くなってくると椅子を持って来てさらに積み上げます。高くなるにつれて「〇〇先生より高くなったらどうする?」「このまま天井までいくんじゃない」とニヤニヤが止まりません。

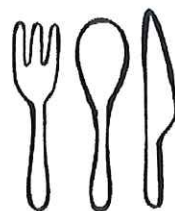
手持ちのカプラがなくなると、近くで別の遊びをしていた子が「ここの使っていいよ」と持って来てくれて、どんどんどんどん高くなります。

すると今度は崩れないための方法を考えながら積み上げ始めました。「そーっと置いてね」「置くときは息止めよう」「風が吹いたら崩れるから周りは歩かないでおこう」など工夫を凝らしていました。気が付けば、子ども達も保育者も手がギリギリ届くところまで到達。「やったあ!」と喜んでいると・・・“バラバラバラバラ”と音を立てて崩れ落ちてしまいました。しかし、子ども達は「次はもっと高くしよう」と前向きな姿勢ですぐに新しく作り始めていました。

みんなでひとつのことに向かって協力しながら楽しむ姿に成長を感じることができた一場面でした。



お台所の先生から



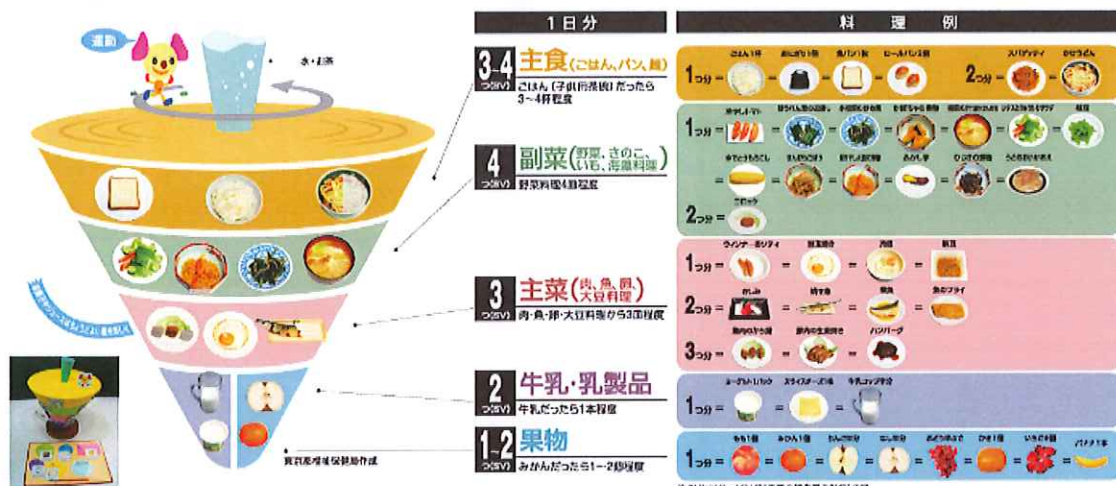
なか井 ふうい
中井 福井

《何をどれだけ食べればいいのか》

園だよりでもよくお伝えする、バランスの良い食事。具体的には何をどれだけ食べるといいのでしょうか。そこで東京都が作成した幼児向け食事バランスガイドを紹介します。3歳から5歳を対象に、1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいか、主食/主菜/副菜/牛乳・乳製品/果物の5つのグループからバランスよく選べるよう、コマの形と料理の写真でわかりやすく示したものです。東京都保健医療局 HP [東京都幼児向け食事バランスガイド | とうきょう健康ステーション](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kenkou/kenko_zukuri/el_syo/index.html)でご覧いただけます。

～子供と一緒に食を育もう～

東京都幼児向け食事バランスガイド



「東京都幼児向け食事バランスガイド」は、幼児の食事の望ましい組み合わせとおおよその量を写真で示したものです。

日本で古くから親しまれている「コマ」をイメージして描き、食事のバランスが悪くなると倒れてしまうという、回転（運動）することによって初めて安定するということを表しています。
※東京都幼児向け食事バランスガイドは、3～5歳の幼児を対象にしています。

コマの中では、3～5歳児の1日分の料理・食品の例を示しています。主食、副菜、主菜、牛乳・乳製品、果物の5つに区分し、区分ごとに「つ(SV)」という単位を用いています。また、1日の食事にかかせない水・お茶をコマの輪で、運動を東京都健康推進プラン21のマスケット「プランちゃん」でお菓子・ジュースをコマのひもで表しています。

コマの中の写真は、あくまで一例です。1日に実際にとっている料理の数を数える場合には、右側の「料理例」を参考に、いくつ(SV)とっているかを確かめることにより、1日にとる目安の数値と比べることができます。お子さんの食事の内容と比べてみてください。

栄養・食生活に関するホームページ http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kenkou/kenko_zukuri/el_syo/index.html
問い合わせ先 東京都福祉保健局保健政策部健康推進課 電話番号03-5320-4357(ダイヤルイン)

東京都福祉保健局

登録番号(21)514

食事の適量は年齢により異なります。6歳以上を対象にした食事バランスガイドは、農林水産省のHP「[食事バランスガイド](#)」について：農林水産省でご覧いただくことができます。

日々の食事の基本は大人の食事をバランスガイドを参考に準備し、幼児向けバランスガイドを参考に一日分の単位を満たせるように心がけていただければと思います。食事の準備が負担に感じられこともあるかと思います。秋には色々な美味しい食材がたくさんあります。根を詰め過ぎることなく手間の省ける鍋料理など、アレンジしながらご家族の皆さんが健康に過ごせるように楽しく食事していただければと思います。

ほけんだより



看護師 森らき 榎木

はっことども園では例年になく8月～9月にかけてインフルエンザが流行しました。

厳しい暑さの夏でしたね。10月に入りやっと朝・夕過ごしやすくなってきました。

外に飛び出し、思いっきり秋を満喫しましょう。

＜目＞を大切に：5歳までは、視力、立体視、眼球運動、遠く近くに焦点を合わせる調節などが、バランスよく発達する大事な時期です。子どもの目を守るためにデジタル製品を使用するときは、4つのことに気を付けましょう。

家庭での使用時間など
ルールを必ず決めましょう

寝る1時間前からは画面
を見ないようにしましょう

画面を見る距離は30cm
以上離して姿勢よく使用
しましょう

30分に一度は20秒
以上遠くを見て、目を
休めましょう

＜11月の保健行事＞

・11月13日（木）

耳鼻科健診：13時～

（対象は、4歳、5歳児と0，1，2歳児は、一度も耳鼻科受診したことがなく気になる症状がある方のみです）

3歳児クラスは3歳児健診がある為、耳鼻科健診はありません。

健診前にオーディオメーターを使って聴力検査を行ないます。

・11月18日（火）

内科健診：13時～

（対象は全園児）

＜インフルエンザ予防＞：手洗い、うがい、生活習慣を整えるが基本です。

インフルエンザの予防接種を受けても、100%感染を予防できるわけではありませんが、もし発症しても症状の重症化を予防でき、回復も早い傾向にあると言われています。



インフルエンザウイルスは、主に人に流行するA型、B型、C型に分類されます。特にA型は型が細かく変異しやすいためインフルエンザに一度かかっても何度もかかります。

流行する前に予防接種をしておきましょう。

＊予防接種の効果は（抗体ができる）までに約2～3週間かかり、免疫の持続期間は約5カ月とされています。

これらを考慮し、10月～11月のうちに接種するのが理想的です。



ウェルネス体育あそび

体育講師 難波

4期は、運動会の要素を組み込み、かもめ組では「組体操」そら組では2人組の「くぐってとんで」などの動きを行ってきました。

5期は、運動会も終了し、一段と子どもたちのチャレンジする意欲が出てきます。サーキット運動で、たくさんの動きを身につけていきます。

5期の取り組みとねらい

サーキット運動

〇3 歳児クラス

U形サーキット

- ・動き方やルールが「わかる」から「できる」楽しさへとつなげていきます。
- ・基本動作を確かなものにしながら、複合動作①（～しながら～するという2つの動作を同時に行なう。）を経験していきます。

〇4 歳児クラス

U形サーキット

- ・複合動作①（～しながら～する。という2つの動作を同時に行なう。）を安定して行なえるようにしていきます。
- ・基本動作では動きの確かさ（素早さ、連続性、バランス性など）を図ります。
- ・複合動作①（～しながら～する。という2つの動作を同時に行なう。）を安定して行なえるようにしていきながら、複合動作②（・・・しながら・・・して・・・する。というように、ひとつの動作に3つ以上の動きを同時に行なう。）を経験していきます。

〇5 歳児クラス

U形サーキット

- ・引き続き、複合動作②（～から～して～する。という3つの動作を同時に行なう。）を取り組みながら、複合動作③（上肢は・・・しながら、下肢は・・・しながら・・・する。というように、ひとつの動作に上肢と下肢を同時に行なう。）を経験していきます。

ポイント指導

〇3 歳児クラス

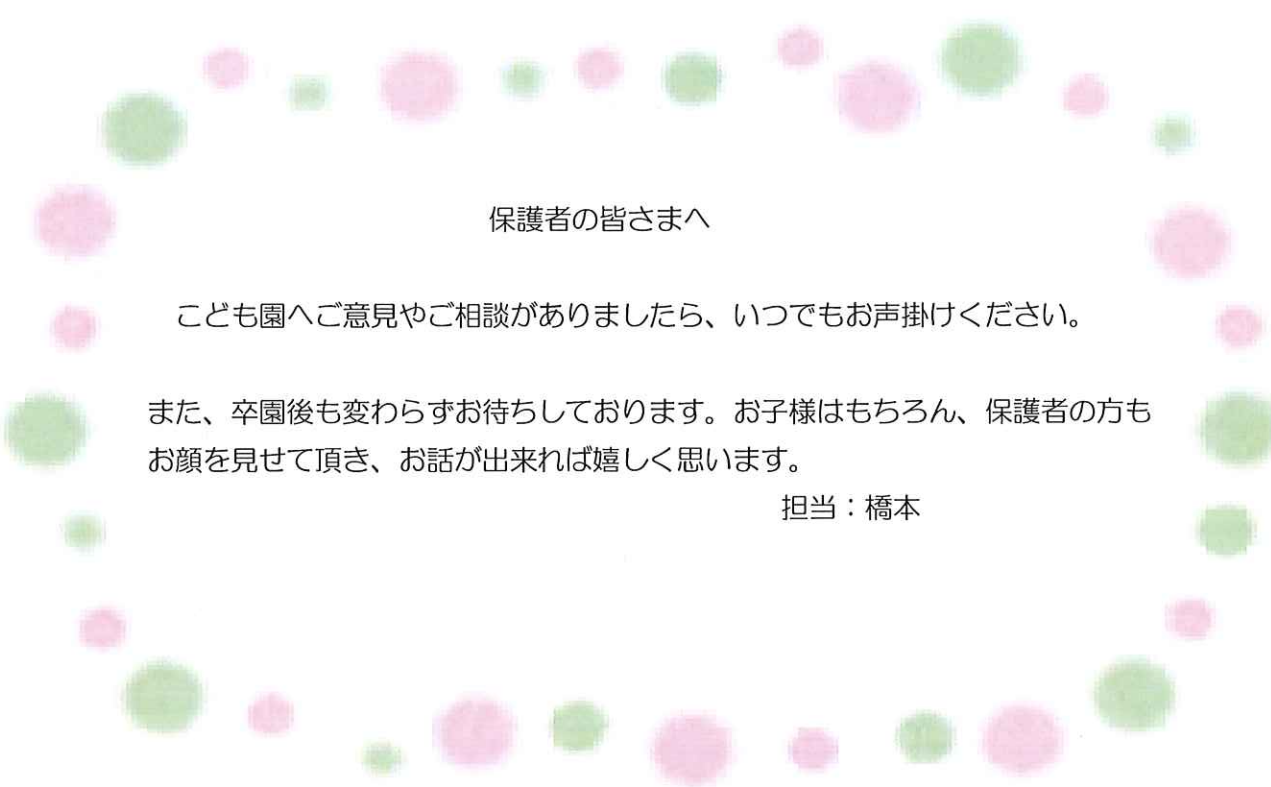
- ・マット「前回り」⇒マットに支持をしながら、真っすぐ前に回ります。
- ・跳び箱「台上からジャンプで開脚乗り」⇒台上からジャンプで降りた後、すぐに開脚で乗ります。
- ・鉄棒「足抜き回り」⇒鉄棒にぶらさがりながら手と手の間に足を通して回ります。出来てきたら、戻るところまで行ないます。

〇4 歳児クラス

- ・マット「坂付き後転」⇒坂を使って後ろに転がります。
- ・跳び箱「開脚跳び」⇒両足揃えてジャンプし、お尻を高くあげ開脚で跳び越します。
- ・鉄棒「坂付き逆上がり」⇒坂を使って壁を蹴り回ります。

〇5 歳児クラス

- ・マット「側転導入」⇒台の上に手を着いて、横に回る感覚を身につけていきます。
- ・跳び箱「開脚跳び」⇒踏み切り板を強く蹴った後、体重移動を行い跳び越します。
- ・鉄棒「逆上がり」⇒鉄棒を体にひきつけながら、蹴り足と振り上げの足のタイミングを合わせて蹴り上げお腹を見ながら回ります。



保護者の皆さまへ

こども園へご意見やご相談がありましたら、いつでもお声掛けください。

また、卒園後も変わらずお待ちしております。お子様はもちろん、保護者の方もお顔を見せて頂き、お話が出来れば嬉しく思います。

担当：橋本